

# オオキチくん通信

2019年3月号

発行: NPO森からつづく道

URL: <http://morimichi.org/>

★上記HPからダウンロードできます

独立行政法人環境再生保全  
機構地球環境基金の助成を  
受けて作成しています。



協力: 風早活性化協議会

こんにちは! オオキチくんです。おぼえてくれたかな? 3月になると、生きものたちもだんだん活発(かっぱつ)に活動(かつどう)をはじめますよ!

カブトムシと同じで、だいたい1年くらい生きるよ。



撮影: 高橋賢悟さん



0.5mm

卵

9月~4月

卵で命をつなぐよ!



幼虫(ようちゅう)  
4月~8月



撮影: 飯田貢さん

羽化(うか)  
6月~8月

ため池だけでなく、季節や時間によって、遠くの山や近くの草むらでも生活します。



山などで暑さをしのぐ  
6月~9月

すべての成虫が死んでしまう

12月



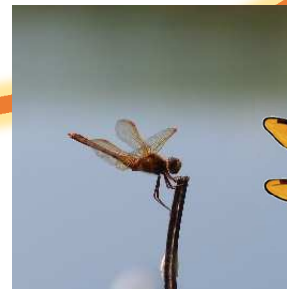
キッコちゃん



産卵(さんらん)  
9月~11月



交尾(こうび)



ため池にもどる  
9月



(武智礼央)

## オオキトンボの一生(いっしょう)

### 春は鹿島(かしま)から~

みんなも大好きな鹿島の情報をお知らせするよ!

#### ◆3月21日は、鹿島ワイワイフェスタ!

松山冒険遊び場のプレーパーク、青空クッキング、工作や体験もあるので、たっぷり遊ぼう! 食べ物ブースも楽しみです♪ 森からつづく道も、生き物写真の展示やクラフトづくりで参加します! チラシや風早活性化協議会のHPを見てね!

#### ◆桜(さくら)の木をうえました!

1月27日(日)に、北条地域の小学6年生と外国人(がいこくじん)留学生(りゅうがくせい)が、鹿島に15本の桜の木をうえました。桜は、陽春(ようしゅん)という品種(ひんしゅ)で、この春にもさくそうです。木が大きく育つといいね!



### あのムシは今?!【ベニシジミ】



撮影: 高橋賢悟さん

食べあと→



成虫は3月下旬~11月に見られるよ!



モンシロチョウくらいよく見るオレンジ色のチョウ。幼虫はかくれるのがとってもじょうずです。このじきは、えさにするスイバやギシギシの葉っぱのうらでじっとしています。食べたあとが目印!

北条地域の玉ねぎの栽培  
3月1日(日)に、小学6年生と外国人留学生が、鹿島に15本の玉ねぎの苗をうえました。玉ねぎは、この春にも収穫できる予定です。玉ねぎが大きく育つといいね!



風早のうまいもん②  
新玉ねぎ

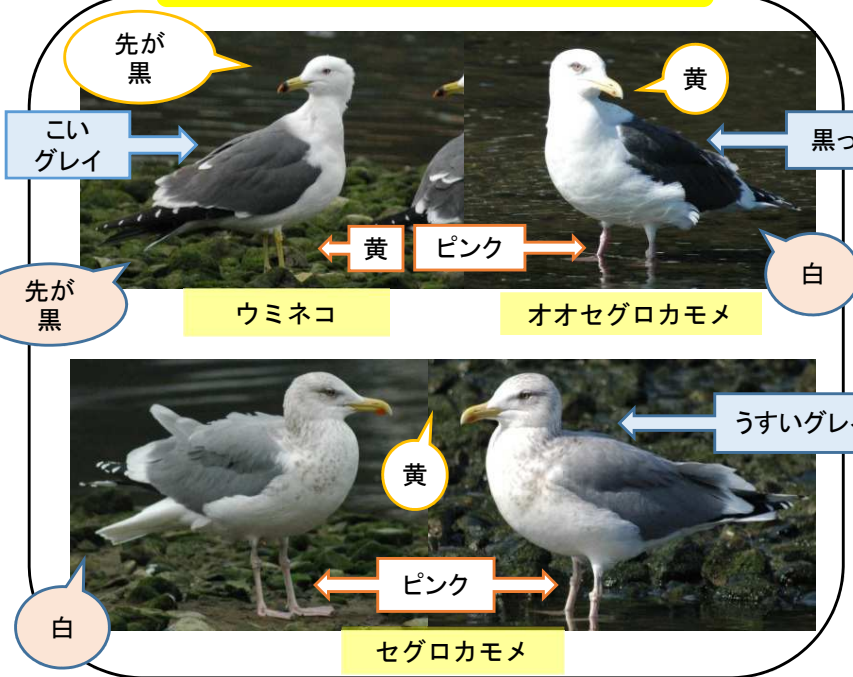




今が旬！生きもの情報

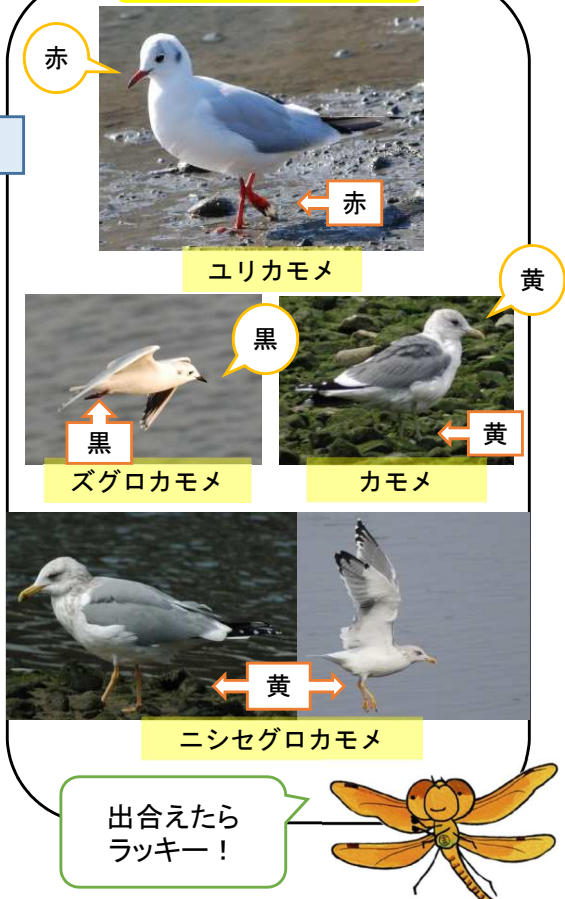
# カモメがわかるとおもしろいかもメ！？

## 風早でふつうにみられるカモメ類



ウミネコは一年中見られますが、オオセグロカモメやセグロカモメは、冬鳥として河口や海に飛んできます。見分け方のポイントは、大きさ、くちばしの色、つばさの色、あしの色、尾羽（おばね）です。まずは、よく見かけるカモメ類3種をしっかりと見分けよう！大きさは、オオセグロ>セグロ>ウミネコだよ！（by khashigoe）

## 少ないカモメ類



出合えたらラッキー！



風早の景色

冬も満水の高縄神社横のため池からは、オオキトンボの発生は確認されていません。池干しされるため池が好きなようです。



今月の花

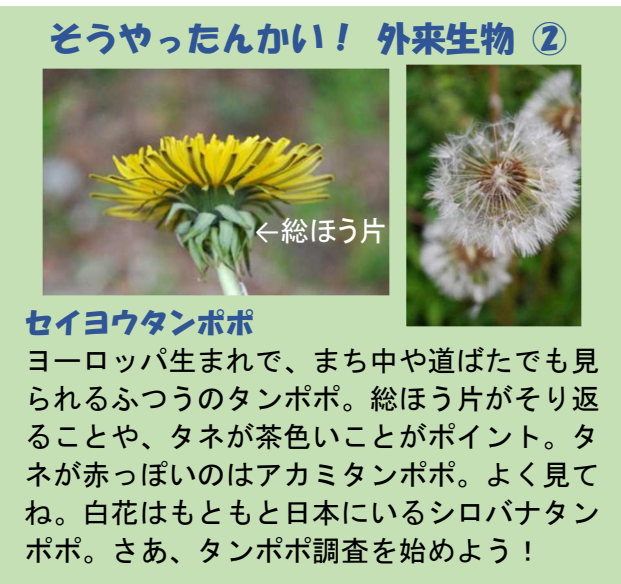
**コバノタツナミ** タツナミは「立波」と書きます。あれる海の波の先が重なる様子から名付けられました。明るい山道などにさきます。



### がんばれ！最後の一枚

ちょっといっぴく

河野小学校の近くに県天然記念物のイブキの大きな木があります。木の年れいは、700年以上と看板（かんばん）に書かれています。遠くからはかれているように見えますが、近づくと一枝だけに葉がしげって、この状態（じょうたい）で30年以上も生きています。



## そうやったんかい！外来生物 ②

←総ほう片

### セイヨウタンポポ

ヨーロッパ生まれで、まち中や道ばたでも見られるふつうのタンポポ。総ほう片がそり返ることや、タネが茶色いことがポイント。タネが赤っぽいのはアカミタンポポ。よく見てね。白花はもともと日本にいるシロバナタンポポ。さあ、タンポポ調査を始めよう！